



学校教育目標 社会に貢献しながら、
自立する生徒の育成
～気づき、考え、実行する～

やまゆり

校訓 「和の心」

指導重点

- ① 居心地がよく、やる気のある
学級集団・学校づくり
- ② 確かな学力の育成
- ③ 豊かな心の育成
- ④ 健やかな身体の育成
- ⑤ 特別支援教育の推進
- ⑥ 生徒の良さを伸ばし、課題を解決するための
「連携・協働」の推進



若鮎祭を終え、 次なるステップへ！

第52回若鮎祭（文化の部）が終了しました。今年度の生徒会目標「全員が主体的に動ける居心地の良い学校」、そしてスローガン「Be Yourself ありのままの自分で居られる私の居場所」のもと、一人ひとりが輝いた素晴らしい行事となりました。行事を通して得た手応えは大きな自信へ、見えてきた課題はこれからの糧へ——。丁寧な振り返りを行い、日々の学びに活かしていきましょう。大きな節目を終えた今こそ、気持ちを新たに次の目標へ向けたスタートを切る絶好の機会です。



9月15日（火）に行われた全校での振り返りの場では、生徒会長から「ミュージカルの準備などで大変な面もありましたが、先生方と相談しながら、生徒同士でスケジュールを確認して主体的に進められたことが良かった」という反省が伝えられました。自分たちで対話し、時間を管理しながら作り上げたプロセスこそ、まさに生徒会目標の体现であり、大きな成長の証です。全校による異学年交流、誰もが居心地の良い学校づくり、そして、この自主的・自治的な姿勢を、これからの日々の学習や学校生活にも活かしていきましょう。

自分らしさを見つめ、 未来の選択を！

行事が終わると、今年度もいよいよ後半戦へと突入します。学習や部活動にも、より一層身が入る時期です。とりわけ部活動が一区切りとなった3年生は、本格的な進路選択の季節を迎えます。間近に迫った「第1回教育課程到達度確認検査（教達検）」に向け、これまでの復習に励んでいることでしょう。この検査は、自身の進路を具体化していく上での大切な指標となります。現代の高校選択は「合格できる学校」ではなく「自分の意志で学びたい学校」を選ぶ時代です。しかし一方で、希望する進路を実現するためには、相応の学力や実績が求められるという現実もあります。山梨県の公立高校入試は、学区制の廃止による全県一区化や定員再編、多様な学びの場の広がりなど、状況が刻々と変化しています。ご家庭におかれましても、お子様の将来についてじっくりとお話し合いいただく機会を持っていただければ幸いです。同時に、目標がどこであれ、日々の地道な学習の継続が何よりの力となります。また、1・2年生にとっても、自分自身の強みや適性を知る重要な時期です。職業や高校について調べることを通して「夢」を「具体的な目標」へと高め、日々の生活習慣や学習方法の見直しにつなげていきましょう。



